

## 科目名 : 西洋建築史

開講期 : 2021 年度 前期

単位数 : 2.0

担当教員 : 志村直愛

所属学科 : 建築・環境デザイン学科

### 科目の目的

「古きを訪ねて新しきを知る」ことは、歴史学の真髄である。歴史を学ぶことは昔を知ることだけでなく、同時に未来を見据えることともなる。本授業では、古代から近代までの西洋の建築の歴史の概観を理解し、同時に歴史に触れ、歴史から学び読み解くことを体得し、将来自然に歴史に親しみながら、これを大きなヒントとして自らの建築空間や芸術作品づくりの場で新しい発想や斬新な視点を引き出すことが目的である。

### 到達目標

西洋建築の歴史を理解し、自身の歴史的視座、視点を今後の芸術、デザイン制作、人生に生かしていくことができる。

### 授業概要

授業は、講義形式で行う。ガイダンスに続いて、西洋の古代から中世、近世、近代までの長い歴史を、古い時代から順に時系列に学ぶ。各時代毎の特徴や時代性などにつき板書を交えて紹介しつつ、時代毎に、事例をまとめたスライドショーを交えながら実物の姿に触れる。単に、歴史、時代の名称を覚えるのではなく、それぞれの様式や形が発生した、あるいは転換していくきっかけ、出来事などの時代背景、西洋各国のお国柄と形や考え方の違いなどを、講義やスライドショーから体感したい。

### 授業形態

本授業は原則として全回オンデマンド（Youtube に配信した動画を各自視聴する）形式で行う。

毎回、授業開始時間までに NETBUS の授業資料に掲示される Youtube の URL から各自授業を視聴する。

授業視聴後、同じく授業資料に掲示される Forms の「きょうの西洋建築史 出席カード型感想シート」に回答することで出席を確認する。（授業動画内では、NETBUS「課題一覧」から回答と説明していますが、上記の方法に変更になりましたのでご注意ください。）

### 関連科目

日本建築史、建築と歴史と自然

## 評価方法

- ・ 建築史に関して得た知識、関心を発揮したレポートの作成 80%
- ・ 学習態度、シート記載の記事による理解度と取り組み姿勢 20%

## 授業計画

- 第1回 ガイダンス・講義/西洋建築史の概要～建築史を学ぶ意義と楽しさ
- 第2回 講義/古代：古代文明建築の時代
- 第3回 講義/古代：ギリシャ建築の時代
- 第4回 講義/古代：ローマ時代の建
- 第5階 講義/中世：初期キリスト教建築とビザンチン建築の時代
- 第6回 講義/中世：イスラム建築の時代
- 第7回 講義/中世：ロマネスク建築の時代
- 第8回 講義/中世：ゴシック建築の時代
- 第9回 講義/近世：ルネサンス建築の時代
- 第10回 講義/近世：バロック建築の時代
- 第11回 講義/近世：ロココ建築の時代
- 第12回 講義/近世：新古典主義建築の時代
- 第13回 講義/近代：鉄とガラスの建築の時代
- 第14回 講義/近代：世紀末様式建築の時代
- 第15回 講義/近代：近代建築 20世紀の発展

## 参考資料他

- 志村直愛＋横浜家具を通じて文化を考える会編 「建築散歩 24 コース東京・横浜近代編」  
山川出版社
- 志村直愛＋建築から学ぶ会編 「東京建築散歩 24 コース編」 山川出版社

## 質問受付

授業時に配布するシートに質問を記入する方式となっている

## 受講上の留意事項

※ 本授業は原則として全回オンデマンド（Youtube に配信した動画を各自視聴する）形式で行う。

毎回、授業開始時間までに NETBUS の授業資料に掲示される Youtube の URL から各自授業を視聴する。

授業視聴後、同じく授業資料に掲示される Forms の「きょうの西洋建築史 出席カード型感想シート」に回答することで出席を確認する。